

パートナー

PARTNER

2019.10.15 発行

No. 41

主な内容

- あなたも私もイキイキ人生
- 消防士体験学習
- みんなで考える「男女共同参画」
- 今後のイベント情報
- 相談機関のご案内

発行 はだの市民が創る男女共同社会推進会議

事務局 秦野市役所くらし安心部市民相談人権課
秦野市桜町 1-3-2 TEL.0463-82-5128 FAX.0463-82-2001

E-mail s-soudan@city.hadano.kanagawa.jp



手振りを交えて熱弁する講師

モーツァルトの軽やかなテンポに乗せて、颯爽と登場したアマテウス大西さん。マイクの前に立った瞬間からユーモアたっぷりのお話が始まり、あっという間に会場が笑いに包まれていきます。その内容も、人権・男女共同参画やイキイキと生きる秘訣を、日常の出来事や最近のニュースなどをキーワードにしており、とても分かりやすいお話でした。トークの間には、「世界に一つだけの花」「糸」「花は咲く」「愛の讃歌」と世代を超えて愛されている曲のピアノ演奏があり、力強くも繊細なタッチに会場中が酔いしれました。公演の最後には講師の伴奏で、会場全体が「故郷」「赤い靴」「高校三年生」を大合唱。魅惑のピアノ演奏あり、爆笑

笑子高齢化社会を目指して

令和元年6月22日、秦野市本町公民館多目的ホールで、「ピアノ&お笑いトーク 癒しのソムリエ」の異名を持つマルチ音楽家のアマテウス大西さんをお招きして、「はだの男女共同社会フォーラム2019」を開催しました。ここ数年、女性だけでなく、男性の参加者も増えてきており、今年は全体の3割以上が男性参加者となりました。

あなたも私もイキイキ人生

音楽と笑顔に勝るクスリなし

トークあり、会場が音楽と笑いでいっぱいになりました。講師は、大阪音楽大学のピアノ科を卒業後、30年間高校で音楽の教諭を務めた後、「Mr.もが笑い、老いも若きも幸せに年を重ねていく社会」を目指し、奈良市をはじめ全国各地で公演・コンサート活動を行っています。

イキイキ人生の秘訣

ある脳科学者と医療研究所が発表している「健康で長生きする秘訣」を分かりやすくお話ししていただきました。いくつになっても、いろいろなことに興味や関心を持つたり、心をときめかせることが大切とのこと。シンプルですが意外に実行するのが難しいと思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この「健康のか・き・く・け・こ」に「イキイキ人生」を送る秘訣が盛り込まれていますのでぜひ実行してみてください。

健康のか・き・く・け・こ

- か…感動する風邪をひかない
- き…興味を持つ 気に病まない
- く…工夫する 食意地を張らない
- け…健康診断を受ける
- こ…心をときめかせる 転ばない

※講師のお話より



ユーモアたっぷりのお話で笑顔があふれます

男女共同社会の壁「固定観念」

公演の中で男女共同参画に関するクイズが出されました。「お父さんとその息子がけがをして、別々の病院に運ばれました。息子が運びこまれた先のお医者さんが、「この子は私の息子です。」と叫びました。なぜでしょう？」今までのにぎやかな雰囲気から一転、なかなか答えが出ず、会場は沈黙に包まれました。答えは簡単！そのお医者さんが女医さんだったからです。正解を言われた時、会場では「ああ、なるほど。」という表情をされた方が大半でした。このことから、医者＝男性という先入観がまだ残っている現状に気づかされます。また、逆に、「女医（広義）カープ女子」「日傘男子」など、知らず知らずのうちに、先入観のある言葉を使ってしまうことはありませんか、との問いに、「うーん、そういえば…」という表情をされている方が多く見られました。社会や慣習の中に残る固定観念に気づき、性別にとらわれず、自分らしさやその人らしさを大事にする意識を持つことが大切です。

参加者の声

フォーラムの感想



● 全曲良かった。こんなに笑ったことは久しぶりでした。

● お医者さんの話で、医者といったら男性を思い浮べる自分の考えから、男女共同社会をもっと進めていく必要があると感じた。

● 生演奏がすごく素晴らしかった。声を出して歌えてよかった。先生のトークはとても面白かった。

● 「糸」「世界に一つだけの花」「花は咲く」は、力強い演奏で元気ももらえました。

● 全て知っている曲で楽しかったです。医者＝男性のイメージが根強く自分の中にあるのだなと感じました。

● 「はだの市民が創る男女共同社会推進会議」があることを知りませんでした。秦野にも素敵な組織があることを在住20年で初めて知りました。

● 「音楽と笑顔に勝るクスリなし」という言葉が最高でした。

● 初めての参加ですが、これからの人生をとてポジティブに考えることができました。

● 会場の皆さまと一緒に曲を歌うことができて心から晴れやかになりました。